

(参考) 社会資本総合整備計画 (防災活動拠点整備) 事後評価書 (中間評価書)

令和元年6月4日

計画の名称	1 秋田市防災活動拠点整備計画		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成30年度 (3年間)	交付対象	秋田市
計画の目標			

『都市の防災機能を強化するため、防災活動拠点整備や公開済の狭あい道路指定道路図等の情報普及の充実を図り、安全で安心な都市を目指す。』

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・情報普及度合いを示す秋田市HPアクセス件数について、平成26年度末の件数を平成30年度まで維持する。
- ・自主防災組織などによる防災訓練参加者数を平成30年度末までに6,559人とする。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

①	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考						
		(H28当初)	(H29末)	(H30末)							
①	・秋田市HP道路情報登録閲覧システムアクセス数をカウントする。 (秋田市HP道路情報登録閲覧システムアクセス数) (件/年)	22,970件/年	-	22,970件/年	現況値はH26年度末の実績値						
②	・自主防災組織などによる防災訓練に参加した人数の実績をもとに算出する。 (自主防災組織などによる防災訓練参加者数) = 市内で行われた防災訓練に参加した市民等の参加者数の年間総計 (人)	6,013人	-	6,559人	現況値はH26年度末の実績値						
全体事業費		合計 (A+B+C)	164百万円	A	150百万円	B	百万円	C	14百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	8.53%

事後評価 (中間評価)

○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期	
事後評価 (中間評価) の実施体制	事後評価 (中間評価) の実施時期
本市で評価を行い、達成状況等を確認した。	令和元年5月
	公表の方法
	秋田市ホームページに掲載する。

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	R1	R2		
1-A-1	住宅	一般	秋田市	直接	秋田市	-	-	狭あい道路整備等促進事業	指定道路図等の閲覧に係るデータベースの運営・公開、都市計画区域全域	秋田市						3	
1-A-2	住宅	一般	秋田市	直接	秋田市	-	-	優良建築物等整備事業 (山王一丁目地区)	市街地環境形成タイプ、防災拠点施設・防災広場の整備、約2.6ha	秋田市						147	
合計											150						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 (港湾・地区名)	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	R1	R2			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	R1	R2		
1-C-1	施設整備	一般	秋田市	直接	秋田市	—	山王官公庁緑地改修事業（山王一丁目地区）	園路改修（防災拠点隣接園路）	秋田市						14	
合計														14		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-C-1	防災拠点施設・防災広場は、津波等を考慮した地盤高としていることから、隣接する緑地内の園路からの誘導路の確保およびバリアフリー整備（段差解消等）を行い、市民や物資の移動円滑化を図る。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>道路情報閲覧システム利用の普及により、建築確認手続き等の円滑化が図られた。</li> <li>「防災拠点施設となる、安全・安心な庁舎」を基本コンセプトの一つに掲げる新庁舎の見学等を通して、市民の防災意識の浸透が図られた。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（秋田市HP道路情報登録閲覧システムアクセス数）	最終目標値	22,970件/年	目標値と実績値に差が出た要因	道路情報登録閲覧システムの利用が定着したとともに、平成29年度の秋田市公式ホームページ全面リニューアルにより、スマートフォンやタブレット端末などにも適した形での閲覧が容易となったため。
		最終実績値	34,109件/年		
	指標②（自主防災組織などによる防災訓練参加者数）	最終目標値	6,559人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	4,226人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		自主防災組織などの避難訓練や防災講話の実施回数が平準化したことによる。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路情報閲覧システムについては、随時、最新情報に内容を更新し、建築確認手続き等の円滑化を図っていく。</li> <li>新庁舎の防災拠点機能をサポートし、一時避難等にも対応できる広場状空地として整備した「市民の広場」は、今後も総合防災訓練の会場として使用するなど、フレキシブルな活用を検討していく。</li> </ul>					

